

トピックス

これから動きのありそうな感染症

今年は台風の当たり年で、なかなか秋晴れの休日に恵まれません。せめて感染症の方は静かな年であることを願っています。さて、ここしばらくおとなしかった感染症報告も、そろそろ冬のパターンへと動き出しそうな気配です。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎^{*1}(学童期に多く発症し、症状は発熱、全身倦怠感、咽頭痛、咽頭発赤、頸部リンパ節炎、莓舌、発疹などです)はすでに上昇の兆しを見えています。水痘^{*2}(「みずぼうそう」とも呼ばれるウイルス性急性疾患で、2週間程度の潜伏期のあと、掻痒を伴う全身性の発疹、発熱、全身倦怠感などの症状が出現します)も例年にならばそろそろ上昇に転ずる時期にあり、少し遅れて感染性胃腸炎^{*3}(ウイルスまたは細菌による急性感染性胃腸炎で、腹痛、嘔吐、下痢、発熱などの症状を示します)の急峻な立ち上がりが続くものと予想されます。咽頭結膜熱^{*4}(一般にプール熱とも呼ばれる小児の急性ウイルス感染症で、発熱、咽頭炎、結膜炎、全身倦怠感等の症状を示します)は通常夏に感染のピークがありますが、昨年は冬にもピークがあり、そのままあまり勢力の衰えない状態で今年の夏のピークに移行した結果、過去最大級の感染となりました。この感染は主としてアデノウイルス 3 型によるものでした(病原体検出情報^{*5})。過去の例から言えばこの冬はこのまま大きな流行のない状態が続く可能性が高いように思われますが、今後の動向が少し気になるところです。

一般的な微生物感染予防対策としては、敵を知り(感染症サーベイランスなど)、免疫力を高め(可能ならワクチン接種)、感染源との接触を避ける(人ごみを避ける、うがい、手洗いの励行など)ことが大切ですが、日ごろから栄養、運動、休養などのポイントを押えた体力づくりに励んで、敵を迎え撃つ力を蓄えておくことも必要かと思われれます。

*1 http://idsc.nih.gov.jp/idwr/kansen/k03/k03-37/k03_37.html

*2 http://idsc.nih.gov.jp/idwr/kansen/k01_g2/k01_24.html

*3 http://idsc.nih.gov.jp/idwr/kansen/k03/k03_11.html

*4 http://idsc.nih.gov.jp/idwr/kansen/k03/k03_14.html

*5 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/microbiol5.html>

(関連リンク)

愛知県感染症情報 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>)

国立感染症研究所「インフルエンザ」(<http://idsc.nih.gov.jp/disease/influenza/>)

今冬のインフルエンザ総合対策について(平成15年度)

(<http://www.mhlw.go.jp/houdou/0111/h1112-1.html>)

インフルエンザ予防接種ガイドライン (<http://www.mhlw.go.jp/topics/bcg/tp1107-1e.html>)

インフルエンザ情報サービス (<http://influenza.elan.ne.jp/index.php3>)

鳥インフルエンザに関する情報 (<http://www.mhlw.go.jp/houdou/0111/h1112-1f.html>)

CDC 「インフルエンザ(flu)」(<http://www.cdc.gov/flu/>)

WHO 「インフルエンザ」(<http://www.who.int/csr/disease/influenza/en/>)

インフルエンザ関連情報リンク集 (http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/inf_links.html)

9 月の一～五類感染症 (全数把握対象) 発生状況

		平成 16 年 9 月			平成 16 年度 累 計 (愛知県)	備考 (9 月)
		県 分 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県		
一類 感染症						発生報告無し
二類 感染症	コ レ ラ				5 [1]	
	細 菌 性 赤 痢		3	3	16	
	腸 ち フ ス	2		2	5	
	パ ラ チ フ ス				6	
三類 感染症	腸管出血性大腸菌 感 染 症	12 (2)	8 (1)	20 (3)	144 (32)	O26 2 件 O157 17 件 O165 1 件
四類 感染症	A 型 肝 炎	1	1	2	8	
	Q 熱	1		1	1	
	つ つ が 虫 病				1	
	デ ン グ 熱	1		1	3	
	レ ジ オ ネ ラ 症	2		2	8	
五類 感染症	ア メ ー バ 赤 痢	2		2	27	
	ウ イ ル ス 性 肝 炎 (E 型 肝 炎 及 び A 型 肝 炎 を 除 く 。)	1		1	3	B 型 1 件
	急 性 脳 炎				4	
	ク ロ イ ツ フ ェ ル ト ・ ヤ コ ブ 病				3	
	劇 症 型 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 感 染 症	1		1	2	
	後 天 性 免 疫 不 全 症 候 群	2	5	7	42	A I D S 3 件 無 症 候 性 4 件
	ジ ア ル ジ ア 症				1	
	髄 膜 炎 菌 性 髄 膜 炎				1	
	梅 毒	2	1	3	18	早期顕症 3 件
	ハ ン コ マ イ シ ン 耐 性 腸 球 菌 感 染 症				1	

() 内は無症状病原体保有者

[] 内は疑似症者の再掲

五類感染症（月報定点把握対象）発生状況

No	疾 病 名	平成 16 年 9 月			平成 16 年 8 月		
		県 分 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県 全体	県 分 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県 全体
1	性器クラミジア感染症	128	41	169	172	31	203
2	性器ヘルペスウイルス感染症	29	7	36	36	7	43
3	尖形コンジローマ	29	10	39	39	11	50
4	淋菌感染症	102	25	127	73	28	101
5	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	64	6	70	61	9	70
6	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症				1		1
7	薬剤耐性緑膿菌感染症						

上記の報告数は感染症月報指定届出機関(性感染症:51、基幹:13医療機関)で把握したものです。

感染症の類型及び定義

類 型	定 義
一類感染症	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。

【対象疾病】

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」で定める86疾病

定点の先生方からのコメント

尾張西部地区

7歳女 カンピロバクター腸炎
1歳男 エルシニア腸炎
【一宮市 あさのこどもクリニック】
3歳女 マイコプラズマ気管支肺炎
【一宮市 後藤小児科医院】
病原性大腸菌O1 4歳女、11歳女、24歳女
病原性大腸菌O6 2歳男
病原性大腸菌O18 3歳男、9歳男
病原性大腸菌O25 1歳男
病原性大腸菌O166 11歳女
マイコプラズマ肺炎 2人
E Bウイルス感染症が多い。
【尾西市 城後小児科】

4~5歳を中心にムンプス小流行しています。
【犬山市 武内医院】
手足口病が散見されます。
マイコプラズマ感染症多し
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
感染症はありませんが喘息性気管支炎が多くなって参りました。入院例もあります。
【春日町 丹羽医院】

尾張東部地区

カンピロバクター腸炎 10歳男
病原大腸菌O18 11ヵ月男
【瀬戸市 津田こどもクリニック】
今週は感冒症状の受診者が目立ってきましたが、感染症に関してはこれといった流行はありませんでした。
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
感染症少なくなりました。
【春日井市 春日井市民病院】
1週間ほど発熱が持続する、上気道炎が増えています。
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
まだムンプスの流行がみられます。
3歳女の単純ヘルペス症がありました。
【春日井市 かちがわ北病院】

ウイルス性肺炎多し
【小牧市 小牧市民病院】
手足口病による急性小脳失調 1例
【小牧市 志水こどもクリニック】
マイコプラズマ肺炎 18歳女
【南知多町 大岩医院】
この時期には珍しく典型的な手足口病がありました。
【大府市 まえはらこどもクリニック】
<10月報STDコメント>
今月は検査依頼全て(+)の結果となった。感染症のこと よく話したがいかなものか？。
【東郷町 医療法人バク諸輪診療所】

西三河地区

5歳男 病原大腸菌O5
3歳女 病原大腸菌O111
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
これといった流行はありません。
【岡崎市 花田こどもクリニック】
7歳男 病原性大腸菌O20(+) VT(-)
7歳女 サルモネラO9
1歳男 カンピロバクター
【岡崎市 にいのみ小児科】
4歳男、7歳女 マイコプラズマ肺炎
3歳女 カンピロバクター
9ヵ月男 病原大腸菌O1
5歳男 病原性大腸菌O18
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

手足口病が多い
【西尾市 やすい小児科】
サルモネラ腸炎O9 10歳女
カンピロバクター腸炎 3歳女
【西尾市 山岸クリニック】
アデノウイルス感染症 4歳女
カンピロバクター 2歳男
サルモネラ 2歳女
カンピロバクター 4歳男
病原性大腸菌O6 VT(-) 4歳女
サルモネラO4 11歳女
ウイルス性喉頭炎が多い。
【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

溶連菌感染症の児が時々います。

【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

一 ～ 三類感染症の発生状況 - 愛知県(名古屋市を除く。) -

腸管出血性大腸菌感染症

<関連リンク> 三類感染症ってなあに？

(http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/3rui_1.html)

番号	報告 保健所	年齢	性別	発病 月日	初診 月日	診定 月日	菌型等	備考
1	岡崎市	9	男	10 / 1	10 / 3	10 / 5	O157 VT1 (-) VT2 (+)	
2	豊川	60	女	10 / 1	10 / 4	10 / 9	O157 VT1 (+) VT2 (+)	
*	岡崎市	76	女	10 / 3	10 / 7	10 / 13	O157 VT1 (+) VT2 (-)	42週 報告分

四類・五類(全数把握)感染症の発生状況 - 愛知県(名古屋市を除く。) -

デング熱 1 例 (推定感染地域 : マレーシア)

(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/mosquito.html#de>)

マラリア 1 例 (熱帯熱、推定感染地域 : ブルキナファソ)

(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/mosquito.html#ma>)

後天性免疫不全症候群 1 例

(A I D S、推定感染経路 : 不明、推定感染地域 : 不明)

(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokede.html#5-7>)

* 後天性免疫不全症候群 1 例 (40 週分の追加報告)

(A I D S、推定感染経路 : 不明、推定感染地域 : 不明)

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

いつもの年より少し遅くなって木犀の金色の花が咲きはじめ、朝の忙しい通勤路で青空を背景に落ち着いた香をちょっと冷え気味の風が運んでくれるようになりました。いつも貴重な情報を有難うございます。9月後半のまとめをお送りします。

- 1) 名古屋市内：名鉄病院福田先生からはクル - プ症候群が多くなり重症の入院例が増加中で、無菌性髄膜炎が散発的に入院、ムンプスも比較的多く、マイコプラズマ肺炎が一定数入院、城北病院渡辺先生からはムンプスの小流行と嘔吐症少々、頭痛・発熱者で髄膜炎とまぎらわしい例が少々あり、喘息様気管支炎でRS陽性例の要入院患者が散発、第二日赤岩佐先生からはムンプス散発、仮性クル - プ（要入院例目立つ）が多発中、千種区今枝先生からは感染性胃腸炎の3歳男1名、発熱と鼻汁、軽い咳の風邪がぼつぼつ、三菱病院入山先生からは感染性胃腸炎7名（カンピロ、病原性大腸菌O - 1、O - 142、O119、O - 128名、黄色ブ菌、2名入院）、ムンプス2名、RSウイルス感染症の入院1名、マイコプラズマを含む肺炎の入院約10名、中京病院柴田先生からは特になし、大同病院水野先生からはムンプスが続き今年は無菌性髄膜炎合併例が多く、細菌性腸炎（サルモネラ、大腸菌O - 157、カンピロバクタ - 。比較的軽症で下痢が遷延する例にサルモネラが検出）、仮性クル - プの入院例が9月20日前後に集中、とのお手紙でした。
- 2) 尾張地区：犬山市武内先生からは感染性胃腸炎、手足口病、ムンプスがそれぞれ散発中、江南市昭和病院小児科からは仮性クル - プの入院が目立つ、とのお手紙でした。
- 3) 三河地区：加茂病院梶田先生からはムンプスが流行中でクル - プ（要入院が多い）が増加、喘息発作の入院が多く、マイコプラズマ感染症が少数入院、刈谷市田和先生からは幼児の嘔吐下痢症でいきなり嘔吐し、1 - 2回のもの、頻回のもの、あとで下痢が続くものなどが少し目立つ、碧南市永井先生からはムンプスが目立つ、豊橋市からはマイコプラズマ肺炎が少々と突発性発疹が目立つ（市内長屋先生、宮澤先生）とのお手紙でした。有難うございました。

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

2004 年 9 月 10 日（79 巻 37 号）<http://www.who.int/wer/2004/wer7937/en/>

コレラ。チャド：6 月 14 日 - 8 月 22 日、チャド西部（難民キャンプから少し離れた地区）で 2,046 例（死亡 48、罹患死亡率 4.8%）報告。首都ヌジャメナ北方から首都に拡大。ス - ダン難民の集結しているチャド東部では未発生であるが水供給悪化、衛生状態不良化、雨期が続くコレラのハイリスク状況と考えられ同国保健省は対策実施中。

E 型肝炎。チャド：最近の状況。6 月 26 日 - 9 月 2 日、難民キャンプで 1,077 例（死亡 35、罹患死亡率 3.2%）。WHO 専門家が 9 月 2 日から安全な水供給と衛生状態改善を目標に調査開始。

狂犬病。フランス：04 年 9 月 1 日、フランス健康局（Health authorities）はパリ・パスツ - ル研究所で狂犬病と確定されたイヌとの接触者、接触動物を調査中。該当のイヌは 8 月 18 日発病、8 月 21 日死亡。生後 4 ヶ月の雌。ワクチン未接種。モロッコから動物検疫を受けず、違法入国。8 月 1 日 - 21 日に接触した可能性のあるヒトと動物（散歩などで多数の接触例あり）について、<http://www.who.int./rabies/en/>で情報収集中。

急性弛緩性麻痺（AFP）とポリオ。世界の統計：04 年 8 月 24 日時点の届出数。AFP は全世界で 23,366 例、うちポリオは 602 例（全例野生株）届出。ポリオ届出国で目立つのはナイジェリア 476、ニジェール 19、チャド 12、ス - ダン 5、パキスタン 23、インド 34 例。

レブラ（ハンセン病。WHO 週報は leprosy。以下、WHO にならいレブラと記載）。1995 年以来、レブラ常在地域で根絶活動が実施されているが患者多発地区では報告数の減少傾向は認められないし、新規報告例の障害程度は高く、現在も「隠れた例」が多く早期発見と早期治療の重要性が示唆されている。患者多発地区では多剤併用療法普及率が低いこと、疾患に関する認識の低さ、伝統的な因習などが問題であり本報は根絶キャンペーンのまとめである。多発地区としてコロンビア、カメル - ン、中国、インド、ミャンマ - 、ネパ - ルについて 02 年の患者届出数、菌多数陽性者率、2 度以上の障害者率、女性と小児患者数の表、インド、ミャンマ - 、ネパ - ルについては 02 年に短期間のキャンペーンを 4 回実施した各回数別の結果を表としたが、障害程度が多少軽減された地区はあっても中国やミャンマ - などでは高く、キャンペーンの重要性が強調される。

インフルエンザ。世界の状況：中国南部と香港で A（H3N2）の中規模発生あり。

9 月 3 - 9 日届出。コレラ：モザンビ - ク、ウガンダ、タンザニア。

2004年9月17日(79巻38号) <http://www.who.int/wer/2004/wer7938/en/>

E型肝炎。ス・ダン：5月22日 - 8月27日で3,753例が臨床診断され死亡55例。ダルフル地区が中心で同州南部と西部ではやや減少、北部で増加中。欧州疫学専門家チームの調査結果でE型肝炎。ユニセフは同国保健省と協力、NGOの参加を得て安全な水供給(質、量共に)の作業をすすめており、活動可能な同州南部ではWHOが保健省やNGOと共同で妊婦などのハイリスク者を重点に国内難民を対象に教育活動を展開中。

ギニア虫(注：Dracunculiasis。水系経口感染寄生虫症。中間宿主はミジンコ。生水を飲んで感染。子虫は全身から下肢、特に下腿皮下に移動して尾部が皮膚を破り産卵。慢性の皮膚炎症と運動障害)。アフリカ地区：04年1月 - 7月の根絶状況。03年における常在12カ国の04年前半届出状況を表にまとめてあり(03年多発国はス・ダン8,804例、ガ・ナ5,943例、ナイジェリア1,177例、ト・ゴ488例など)04年の発生は全体では前年比46%減、国別ではウガンダとエチオピアで100%、ト・ゴ89%、ベニン87%、ブルキナファソ85%、ス・ダン74%、ナイジェリア68%、象牙海岸59%、マリ57%、モ・リタニアで25%減少、不変がガ・ナ、ニジェールは44%増であった(国別の状況の詳細：略)。

麻疹による死亡。ス・ダン・ダルフル地区：ダルフル地区は北部、南部、西部の各州にわかれ、住民人口約6,558,698、内戦による国内難民が100万人以上に及んでいる。小児の殆どは予防接種が実施されておらず、04年3月 - 4月に同国保健省の予防接種拡大計画(EPI)担当者に西部と北部における麻疹大流行と死亡例多発の報告があり、保健省とNGOの共同調査で発生状況把握、さらにワクチン接種受け入れ可能と判断して生後9ヵ月 - 15歳の小児全員に6月5日南部ダルフル地区、6月12日に西部と北部ダルフル地区で緊急一斉接種が開始され、接種率は推定対象者2,607名の83%に及んだ(保健活動可能地区居住者では93%)。その結果04年度15 - 19週(04年4月以降)に最高であった麻疹発生は21週と23週の一斉接種で確実に減少した。

9月10 - 16日届出。コレラ：チャド、ギネア、ニジェール、ベネズエラ。

愛知県感染症情報

2004年第41週(平成16年10月4日～10月10日)

愛知県衛生研究所

		定点数					RSウイルス感染症	鳥インフルエンザ(高病原性)	インフルエンザ(高病原性)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
		インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																						
愛知県 (名古屋市を含む)		195	182	35	51	13	5	0	9	85	431	54	60	21	126	4	1	17	1	166	0	27	0	0	3	0	0	
総数 (名古屋市は除く)		125	112	24	37	12	5	0	9	49	286	47	52	14	97	2	0	11	1	120	0	23	0	0	3	0	0	
名古屋	名古屋市	70	70	11	14	1				36	145	7	8	7	29	2	1	6		46		4						
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1			2	6	26	2	2	1	6					8		1			1			
海部津島	津島	7	7	2	2	1				1	32	2	1		3					19		2			1			
尾張中部	師勝	4	4	1	1						13	1			1					1								
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1			3	3	40	3	2		5			1		21		8						
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1			1	7	14	6	7	2	8					6								
	江南	6	6	1	2					3	26	8	4		5			1		12		2						
知多半島	半田	6	6	1	2	1			1	1	2	1	2	5	5			1		4					1			
	知多	7	7	2	2					4	5	1	7		8					4								
西三河南部	岡崎市	11	7	2	2	1				1	11	3	7	1	16			1		7		3						
	衣浦東部	11	11	2	4	1				3	18	5	3		12					8		1						
	西尾	5	5	1	2	1				3	11	1	9		7			1		2								
西三河北部	豊田市	8	8	2	3	1	5		1	2	32	6	1	2	8	2		1		17		4						
	加茂	3	3		1					1	6		1	1	2													
東三河南部	豊橋市	12	8	2	4	1				13	26	2	4	2	7			2	1	1		2						
	豊川	9	8	1	2	1			1	1	24	6	2		4			3		9								
東三河北部	新城	2	2			1														1								

愛知県感染症情報

2004年第41週(平成16年10月4日～10月10日)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	RSウイルス感染症	インフルエンザ エンザ(高病原性鳥 を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
計	5	0	9	49	286	47	52	14	97	2	0	11	1	120	0	23	0	0	3	0	0
～6ヶ月	1				3	4			9	1											
～12ヶ月	3		1		27	4	2		57			1									
0歳	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
1歳			1		50	10	10	2	29			4	1	4		1					
2歳			3	1	35	4	7	1	2			4		10					2		
3歳	1			6	31	8	9	2						18							
4歳			2	13	21	6	11	3				1		29					1		
5歳			1	12	23	4	2					1		22							
6歳				3	9	2	3	1						14							
7歳				3	11	3	2	1						2							
8歳					3	1	1	2						9							
9歳			1	4	8		1							4							
5歳～9歳	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
10歳～14歳				2	20	1	3	2						6		2					
15歳～19歳				2	10																
20歳～				3	35		1			1				2							
20歳～29歳	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	6					
30歳～39歳	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	3					
40歳～49歳	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	2					
50歳～59歳	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	5					
60歳～69歳	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	4					
70歳～	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/						
70歳～79歳	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/						
80歳以上	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/						

愛知県感染症情報

2004年第1週～第41週(平成15年12月29日～平成16年10月10日)(累計)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県 (名古屋市を含む)	195	182	35	51	13	213	37,701	2,758	7,680	30,828	9,847	1,716	2,584	5,181	122	128	7,085	55	8,039	28	1,319	12	23	221	0	0
愛知県 総数 (名古屋市は除く)	125	112	24	37	12	187	29,465	2,107	5,253	21,179	7,963	1,371	2,010	4,091	107	63	5,476	55	6,442	19	1,063	12	23	219	0	0
名古屋	70	70	11	14	1	26	8,236	651	2,427	9,649	1,884	345	574	1,090	15	65	1,609		1,597	9	256			2		
尾張東部	9	9	2	3	1	28	1,855	175	671	1,302	513	47	202	261	10	5	478	7	312	4	24			40		
海部津島	7	7	2	2	1		2,036	105	201	2,153	531	36	69	144	5		198		358		75		6	51		
尾張中部	4	4	1	1			1,006	25	84	870	194	19	102	63			175		100		38					
尾張西部	16	12	3	4	1	10	2,133	239	478	2,351	649	322	94	395	3	2	306	3	505		43	1		1		
尾張北部	9	9	2	3	1	18	2,832	271	624	1,379	837	80	250	384	12	6	445	3	715		45	3	14	1		
	6	6	1	2			1,109	90	580	1,835	694	39	106	335	5	3	346	2	375		57					
知多半島	6	6	1	2	1	6	1,060	107	292	715	372	21	133	196	4	1	161	3	410	2	7			5		
	7	7	2	2		27	1,701	312	225	1,790	669	89	239	302		1	304		638	3	12					
西三河南部	11	7	2	2	1	5	1,945	50	438	523	758	146	138	461	7	5	457	4	468	2	54					
	11	11	2	4	1	1	3,208	157	439	1,172	660	247	137	400	5	4	430	5	1,001		81			14		
	5	5	1	2	1	2	864	33	184	755	259	81	124	187			201	7	418		47					
西三河北部	8	8	2	3	1	66	2,967	135	300	2,498	641	95	160	299	49	35	526	9	673		460		1	39		
	3	3		1		2	414	38	77	439	133	26	52	56			66		66							
東三河南部	12	8	2	4	1	3	4,205	91	425	2,160	468	74	63	347	4		687	11	168	2	75	7		40		
	9	8	1	2	1	19	1,967	270	231	1,214	544	40	137	239	3	1	687	1	203	6	45	1	2	28		
東三河北部	2	2			1		163	9	4	23	41	9	4	22			9		32							

愛知県感染症情報

2004年第1週～第41週(平成15年12月29日～平成16年10月10日)(累計)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	RSウイルス感染症	インフルエンザ(高病原性鳥を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
計	187	29,465	2,107	5,253	21,179	7,963	1,371	2,010	4,091	107	63	5,476	55	6,442	19	1,063	12	23	219	0	0
～6ヶ月	67	277	6	15	280	219	26	8	329	30		40		2		11					
～12ヶ月	59	616	56	24	1,344	518	76	41	2,351	14	5	367	10	41		13					
0歳																	5	3	1		
1歳	32	2,092	304	133	3,054	1,479	295	107	1,290	3	9	1,493	15	324	1	52			16		
2歳	9	1,947	326	243	2,269	1,311	243	137	97	2	5	1,110	6	555		38			13		
3歳	8	2,114	393	575	2,155	1,530	211	218	12	4	2	1,011	2	1,013	1	51		1	28		
4歳	4	2,528	348	1,030	1,972	1,369	197	297	4	3	5	717	6	1,330	1	51		1	23		
5歳	6	1,739	275	1,038	1,650	751	133	385		3	1	370	3	1,230	1	51					
6歳	2	1,342	112	715	1,124	341	61	284	1	6		167	2	630		29					
7歳		1,110	89	466	928	162	45	185	2	1	2	88	2	395		18					
8歳		966	50	274	685	90	19	132	1	2		34	1	299		10					
9歳		1,056	43	193	624	46	15	85	1	1	1	27	1	193		6					
5歳～9歳																		3	61		
10歳～14歳		4,275	52	287	1,406	78	25	88	2	1	2	34	3	258		29		4	44		
15歳～19歳		1,952	4	33	488	11	2	3			2	4	2	29		13			3		
20歳～			49	227	3,200	58	23	40	1	37	29	14	2	143			7				
20歳～29歳		2,465													2	139		4	2		
30歳～39歳		2,408													5	252		5	12		
40歳～49歳		1,051													2	72			4		
50歳～59歳		626													3	81		1	3		
60歳～69歳		455													2	90			5		
70歳～															1	57					
70歳～79歳		265																	1		
80歳以上		181																1	3		